

令和6年度 第3回学校経営研修会 6/5

6月5日(水)、第3回学校経営研修会が行われました。

開会の挨拶では、石田和義 県小学校長会会長より、確かな判断と決断をするにあたって、校長に求められる資質・能力について、「校長は、たとえデータや情報が不足し結果への確信がもてなくても、未来への希望をもって決断しなければ

いけない時がある。そのためにも日頃から教頭や教職員との対話が大切である。」と話されました。

また、教職員課、教育みらい室特別支援教育課、教育みらい室小中学校課教育力向上担当、児童生徒支援担当より指導講話がありました。その後、各部会からの報告・連絡がありました。



引き続き、黒部市小学校長会より「特別支援教育における支援体制の充実に向けて」というテーマで提案発表がありました。

黒部市では、平成23年度に特別支援教育研究会を設立し、特別支援教育コーディネーター研修会や通級指導教室担当者研修会を開催するなど、市内の特別支援教育担当者同士で情報交換を密にし、互いに助け合い、高め合っていこうとする土壌ができており、令和4年度には市教育センターに黒部市特別



支援教育コーディネーターが1名配置されたことで、各学校や保育園等から校内での支援体制や適切な学びの場、就学や進路に関する相談等の要請に対して専門的な立場で素早く対応でき、学校にとっても保護者にとっても効果が出ているとのことでした。大変学びの多い研修となりました。

